

令和 8 年 8 月 2 7 日

令和 7 年度 特別の教育課程の実施状況等について

滋賀県		
学 校 名	管理機関名	設置者の別
滋賀県立彦根東高等学校	滋賀県教育委員会	公立

1. 学校における特別の教育課程の編成の方針等に関する情報

学 校 名	特別の教育課程の編成の方針等の公表 URL
滋賀県立彦根東高等学校	https://www.hikonehg-h.shiga-ec.ed.jp/curriculum

2. 学校における自己評価・学校関係者評価の結果公表に関する情報

学 校 名	自己評価結果の公表 URL	学校関係者評価結果の公表 URL
滋賀県立彦根東高等学校	https://www.hikonehg-h.shiga-ec.ed.jp/curriculum	https://www.hikonehg-h.shiga-ec.ed.jp/curriculum

3. 特別の教育課程の実施状況に関する把握・検証結果

(1) 特別の教育課程編成・実施計画に基づく教育の実施状況

☒ 計画通り実施できている

・ 一部、計画通り実施できていない

・ ほとんど計画通り実施できていない

(2) 実施状況に関する特記事項

※ (1) で「一部、計画通り実施できていない」又は「ほとんど計画通り実施できていない」を選択した場合は、必ず記載する。

特になし

(3) 保護者及び地域住民その他の関係者に対する情報提供の状況

☒ 実施している

・ 実施していない

<特記事項>

特別の教育課程については、PTA 総会や学校評議員会等で説明を行い、理解を得るとともに協力をお願いしている。また、保護者会の開催にあわせて、先端科学研修や海外研修などの学習の成果を掲示物として見ていただく機会をつくったり、学校ホームページや学校公設インスタグラムなどを通じて、最新の取組を広く紹介している。

3. 実施の効果及び課題

(1) 特別の教育課程の編成・実施により達成を目指している目標との関係

彦根東高校は先進的な知識とグローバルな視点ならびに「イノベーション力」を養い、世界をリードするイノベティブなグローバル人材を育成するため、国際的な視野に立ち、従来の教科や文理の枠を横断した内容や、より発展的な内容を取り扱う学校設定教科「GS」を開設し、教科横断型の探究的な学びを教育課程の中核に据えた取組を推進している。

学校設定科目「Advanced Research」や「Integrate」において、大学や企業等、外部機関と連携した科学技術への興味・関心を高める研修や、「感染症」や「半導体」といったテーマを複数の教科を横断した教科融合授業を実施し、主体的な学びへの意識を醸成し、多角的に物事を捉える力を養い、より深い学びへとつながる基盤の育成を図っている。

学校評価アンケートにおいても、教育課程特例校として、様々な取組に挑戦していることに対して、多くの教職員・生徒・保護者が肯定的に回答しており、高い評価を得ている。

一方で、研修など取組の多くが、GSコースを中心としたものとなっているため、学校全体に展開できる方策を検討していく必要がある。

(2) 学校教育法等に示す学校教育の目標との関係

彦根東高校は「未来を拓く心豊かでたくましい人づくりのため、生徒の自立する力・伝える力・協働する力・創造する力等の生きる力を育成する学校」「開校以来の先駆者精神を尊び、予測困難な時代においても確かな行動力で未来を切り拓く人材を育成する学校」「県内各地の多様な生徒が集い、創造性を育む探究的な学習等により世界で活躍できる人材を育成する学校」をスクール・ミッションとしている。

体系的な探究学習と並行して、「プレゼンテーション研修」や「統計処理研修」を実施し、研究の質の向上を図るとともに、校内外での「課題研究発表会」、滋賀県教育委員会主催の「高校生による【しが】学びの祭典」、また滋賀県教育委員会との共催による「高校生国際会議」などにおいて、積極的に探究活動の成果を発表し、論理的に表現する力や他者に的確に伝える力の育成を図っている。

学校評価アンケートにおいても、「自立・協働・創造」する力を身に付けるための教育活動について、多くの教職員・生徒ともに肯定的な回答をしており、高い評価を得ている。

一方で、(1)同様、取組が学校全体に展開できる方策を検討していく必要がある。

4. 課題の改善のための取組の方向性

GSコースで培ってきた教科横断型の探究的な学びを、特定のコースにとどめることなく、学校全体の教育活動に広げていく必要がある。

令和8年度は、滋賀県教育委員会の事業「Shiga STEAM×探究プロジェクト」の研究推進校として、スクール・ポリシーと結びついたカリキュラム・マネジメントの実施、STEAM教育の特性を生かした探究活動の充実、教科等横断を意識した指導体制の構築に向けての取組を推進していく。